**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　2　回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | グループホーム花乃苑 |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 |
| 開催日時 | 令和　５年　６月　２６日　　１４時００分　～　１５時００分 |
| 会場 | グループホーム　花乃苑　羽ノ浦 |
| 参加者 | 利用者代表 | 1人 |
| 利用者家族代表 | ０人 |
| 民生員 | ０人 |
| 高齢者お世話センター | ０人 |
| 市職員 | ０人 |
| 他事業所 | ０人 |
| 有識者 | １人 |
| 事業者 | ６人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 1. 現状報告

**新型コロナウイルス感染症による感染予防のため自施設のみでの開催**２．**入居利用者数**（R5.6/26現在）男性4名　女性14名　　合計18名　　　《要介護別》　要介護１（２名）要介護２（４名）　要介護３（１３名）　　　　　　　　要介護４（０名）要介護５（０名）　　３．入・退居者　(R5.4/29～R5.6/26)　　　　　　　　入・退去なし 　　　４．活動内容　　野菜収穫　散歩　ドライブ　お誕生会　　　　　　　　　　　　　 |
| 議題① | 「離設事故発生」4/29 AM8:50頃 入居者様（要介護3）の離設が発生。廊下の掃き出し窓が開けっ放しになっていたことに気付き利用者様の所在を確認。当該利用者様が見当たらず直ちに捜索開始し、施設から約500メートル離れた車道を歩いている所を発見。無事に施設へと戻っていただくことができた。当該入居者様は、日頃より帰宅願望を訴え出口を探す行動がみられていたが、錠を開けることはこれまでになかった。触っているうちに偶然開いたのか、職員が鍵を閉め忘れていたのかは不明であるが、施設の周辺は農業用水路が多く、季節的に水量も増していたため、重大な事故につながる危険性も大きかった。また、発生時刻はユニットにスタッフが1名のみであったため、出る瞬間には気付くことができなかった。再発防止のための対策として、利用者様の所在確認を強化し、職員数が多い9:00～16:00以外の時間帯は窓にロックを追加使用し様子をみることにした。 |
|  |
| 課 題 ② | 「身体的拘束適正化・高齢者虐待防止委員会」上記の離設事故のように認知症の利用者様は思わぬ行動を起こすことがある。そのため、安全を確保しようとするあまり、過剰な行動制限を行い身体拘束となってしまう場合がある。利用者様の行動を制限することはせず、利用者様の訴えに耳を傾け、安心できるような言葉がけや介助を心掛け、不穏時は、間食や水分を勧めてみたり、苑庭を一緒に散歩したりと気分転換が図れ、不安が軽減できるような支援を行うようにする。 |
| その他 | 〈内部研修〉・6/9　【職場におけるハラスメント】について |